

佛教學七三十一

第 22 号

比丘の戒体発得と受具について……………	佐々木 教 悟… 1
バルラームとヨサファート……………	渡 辺 愛 子…14
* * *	
佛・法・僧……………	佐々木 現 順…27

書 評 ・ 紹 介

富貴原章信： <small>日本 中世</small> 唯識佛教史……………	山 崎 慶 輝…44
安藤俊雄：天台学論集……………	新 田 雅 章…49
——止観と浄土——	
S. Yamaguchi: Index to the Prasannapadā…	長 崎 法 潤…55
Madhyamaka-vṛtti	
立川武蔵：西藏佛教宗義研究 第一卷……………	小 川 一 乗…58
——トゥカン『一切宗義』サキャ派の章——	
稲荷日宣：法華經一乗思想の研究……………	古 田 和 弘…64
* * *	
現代社会における人間の問題 (上)……………	安 藤 俊 雄…72

1975年10月

大谷大學佛教學會

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第 19 号

中国佛教研究法私見……………	横 超 慧 日
——特に初歩の学生諸君のために——	
入楞伽經にあらわれる人法二無我の教説について……………	安 井 広 濟
無色界とさとり……………	坂 東 性 純
中辺分別論(障品)の和訳並びに研究(2)……………	舟 橋 尚 哉
	* * *
チベット文献研究への道しるべ(2)……………	稲 葉 正 就
《人と業績》	
続 佐々木月樵先生……………	山 田 亮 賢
——近代の教学を荷負した情熱の人——	
《書評・紹介》	
仲尾俊博：日本初期天台の研究……………	白 土 わ か
平川彰編：Index to the Abhidharmakośabhāṣya……………	渡 辺 顕 信
H. V. Guenther：The Tantric View of Life……………	野 々 目 了
《海外学界ニュース》	
第二十九回パリ国際東洋学会議に加わって……………	佐 々 木 現 順
	¥ 400 〒 30

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第 21 号

佛教經典現代語訳の諸問題……………	桜 部 建
永久年中書写出家作法について……………	白 土 わ か
浄土の意義について……………	三 桐 慈 海
中辺分別論(障品)の和訳並びに研究(3)……………	舟 橋 尚 哉
《書評・紹介》	
山口益編：佛教聖典……………	氏 家 昭 夫
高崎直道：如来蔵思想の形成……………	小 川 一 乗
——インド大乘佛教思想研究——	
《海外学界ニュース》	
<u>E・フラウワルナー博士の逝去を悼む</u> ……………	雲 井 昭 善
現代中国の佛教事情……………	富 沢 慶 栄
	* * *
佛教の基本的な立場について……………	舟 橋 一 哉
——親鸞の「主上臣下背法違義」と	
釈尊の「依法不依人」との関連性を求めて——	
<u>富貴原章信博士追憶</u> ……………	桜 部 建
	¥ 600 〒 30

顛の思想、それから宋代の入り組んだ佛教の動向、さらには日本天台にまで及び、しかも内容的に未開拓の分野での新たな成果を包含している。それだけに学会に寄与するところ大なるものがあるうし、また編集の妙をえているといわざるをえない。

今後はもはや博士の新たな学問的成果の恩恵に浴することができのなくなったことが惜まれてならない。

(昭和五十年五月、平楽寺書店、A五版、八、〇〇〇円)

執筆者紹介

佐々木 教 悟

大谷大学教授・文博
※リポジトリ非公開

長 崎 法 潤

大谷大学助教授
※リポジトリ非公開

渡 辺 愛 子

甲子園短期大学講師
※リポジトリ非公開

小 川 一 乗

大谷大学専任講師
※リポジトリ非公開

佐々木 現 順

大谷大学教授・文博
※リポジトリ非公開

古 田 和 弘

大谷大学助手
※リポジトリ非公開

山 崎 慶 輝

龍谷大学教授・文博
※リポジトリ非公開

新 田 雅 章

中京大学教授・文博
※リポジトリ非公開

安 藤 俊 雄

元大谷大学々長・文博
一九〇九—一九七三年(昭和四十八年
十二月二十六日逝去 行年満六十四歳)

賛助会員募集

次の要項で賛助会員を募集いたします。

○会費 年間千三百円(二冊分)

○申込み 京都市北区小山上総町

大谷大学佛教学研究
佛教学セミナー編集部

*郵便振替用紙も御利用下さい。

(京都 25303 大谷大学佛教学
研究室 代表者 桜部 建)

既発行の「佛教学セミナー」
を御希望の方も右記のところへ
お申込み下さい。

第一号 絶版 第六号 絶版

第二号 絶版 第七号 絶版

第三号 絶版 第八号 絶版

第五号 絶版

第四号、第八号より第二十一号
までの内、二冊以上お申込みの
方は送料を研究室で負担いたし
ます。(第六号まで各冊二〇〇円、
第七号より第十号まで各冊二五〇
円、第十一号より第十四号まで各冊
三〇〇円、第十五号より第十七号ま
で各冊三五〇円、第十八号、第十九
号四〇〇円、第二十一号六〇〇円)

編集後記

学術と啓蒙との両面を備えている「佛
教学セミナー」は、いよいよ十一周年を
迎えることとなった。

本号には、故富貴原章信教授の「日本
唯識佛学史」について竜谷大学の山崎慶輝
教授に、また故安藤俊雄教授の「天台学
論集」について中京大学の新田雅章教授
に、それぞれ書評・紹介をお願いした。
ここに両先生に心からお礼申し上げます。

また本号には、故安藤教授の、生前、
最後の御講演と思われるもののテープが
見つかったので、ここに掲載することに
したが、一度に載せるには分量が多いの
で、二回に分けて連載することにした。
この講演によると、先生が晩年、精神
医学にかなり関心をもっておられたこと
が知られて興味深い。

(N・F)

佛 教 学 セ ミ ナ ー 第22号

昭和50年10月20日	印刷	¥ 600
昭和50年10月30日	発行	U. S. \$ 3.00
編集 発行	大谷大学佛教学会 桜部 建 発行者	
	京都市北区小山上総町22 番 替 京 都 25303	
印刷	中村印刷株式会社	
発売所	文栄堂書店	
	京都市中京区寺町通三条上ル 番 替 京 都 29488 電 話 (231) 4712番	

佛教学セミナー 第20号

業思想の研究

業に関する若干の考察……………水野弘元
律蔵とカルマン……………平川彰
佛教における業論展開の一側面……………舟橋一哉
——原始佛教からアビダルマ佛教へ——

業論の本質……………佐々木現順
功德を廻施するという考え方……………桜部建
原始佛教における帰依と業……………吉元信行
南方佛教の業思想……………野々目了

* * * * *

成業論の原典に対する一疑問……………山口益
中観学説における業の理解……………安井広濟
——『中論』第十七章「業と果の考察」の研究——

佛性の業——厭離穢土・欣求浄土—— ……小川一乗
中辺分別論における煩惱と業……………舟橋尚哉
菩薩行としての業……………片野道雄
——撰大乘論無性註第二章第三十四節解説——

* * * * *

成佛の道と業……………横超慧日
——般若経と涅槃経を中心に——

華嚴における業性の論理……………鍵主良敬
天台止観と業相……………福島光哉
業報説の受容と神滅不滅……………木村宣彰

* * * * *

『往生要集』における業思想……………坂東性純
日本霊異記における因果応報思想……………白土わか
——とくにその系譜について——

* * * * *

親鸞聖人の業思想……………稲葉秀賢
親鸞における宿業の問題……………幡谷明

* * * * *

インド思想と業——序章—— ……雲井昭善
マハーヴィーラの業説……………長崎法潤

